



門倉実志 くん

都電荒川線三ノ輪橋停留場は見どころいっぱい!

「関東の駅百選」にも選ばれている三ノ輪橋停留場には、大きな花壇がたくさんあります。レトロな造りの停留場ときれいなバラは写真映えるので、人気の撮影スポットになっています。ちなみに、停留場周辺に咲いているバラの多くは「四季咲き」と呼ばれ、冬以外は繰り返し咲く性質をもっています。一方、停留場の東側にあるバラのアーチに植えられたモッコウバラは4月中旬～下旬に咲くバラなので、撮影するなら4月中に行くのがおすすめです。



それぞれのカメラで撮影中のジュニア記者たち。どんなアングルで撮るのかな?



▲都電と停留場のツーショット。バラの鮮やかな彩りが映えます



▲バラの写真を撮りながら最中!



▲ジュニア記者たちが通う小学校の前もバラの花でいっぱい。都電を入れてパチリ

線路脇の細い道にはバラ以外の花も咲いています

▲バラ花壇で写真のアングルを考え中。みんな目が真剣です

▲撮った写真を確認しながら荒川自然公園に続く小道を歩きます



荒川二丁目の停留場付近もバラがたくさん咲いてるよ!

荒川二丁目停留場から荒川自然公園へ向かう坂道には、ボランティア団体「荒川バラの会」が管理する花壇が続いています。このエリアは、フェンスに枝をはわせた、つるバラの特性を生かした立体的な植栽が特徴です。停留場前の開けた空間で都電のホームと車両、そしてバラと一緒に撮影できるスポットとして人気があります。

溝井愛 さん

いろいろな種類のバラを見たいよ



SA 三ノ輪橋
Minowabashi

SA 荒川一中前
Arakawa-itchumae

SA 荒川区役所前
Arakawakuyakushomae

SA 荒川二丁目
Arakawa-nichome

バラの写真を撮りながら

「三ノ輪橋」停留場から「荒川二丁目」停留場まで歩いてみたよ!

区内を走る都電荒川線沿線の停留場前花壇や線路脇・停留場のそばにある公園などでは、たくさんのバラを観賞することができます。今回、ジュニア記者たちと一緒にバラの撮影をしながら都電沿線を散策しました。お気に入りの写真は撮れたかな?



三ノ輪橋停留場にはオリンピック記念のバラも!



▲土木管理課の成手木係長の解説で、バラの知識もばっちり学習

都電荒川線の総距離は約12km。そのうち荒川区内を走っているのは約4.8km。バラは、植栽が可能な約4kmにわたって植えられています。春の見ごろは5月中旬～6月上旬、秋の見ごろは10月中旬～11月上旬です。なお、三ノ輪橋停留場では、昭和39年の東京オリンピックにちなんで作られた「聖火」という名前のバラを見ることができます。

「荒川バラの会」の皆さんが花壇のお手入れをしています



▲パンフレットを見ながら、みんなでバラ花壇の見学場所を確認

バラのせんいや誘引作業、水やりや雑草の除去などを担当する荒川バラの会。発足当初は25名だった会員も、現在は約90名となっています。今回ジュニア記者たちが歩いた三ノ輪橋や荒川二丁目以外にも荒川二丁目南公園・町屋駅前・あらかわ遊園付近と全5班に分かれて自主的な活動を行っています。

三浦 紗 さん

バラ花壇はほかにもあります。公園や停留場の近くにあるため、いつでも身近にバラを楽しめますね。

荒川二丁目南公園バラ花壇



「花の公園」をイメージした園内では、「レッドクイーン」や「カリフォルニアドリーミング」など華やかなバラが多く植えられています。都電沿線から少し離れているため、知る人ぞ知るバラのスポットです。

<その他のバラ花壇スポット>

町屋駅前バラ花壇

あらかわ遊園バラ花壇

のぞくと違う世界をみたい!



越田 睦花 さん



バラと一緒に写真を撮ってみよう!

毎回、本紙の撮影を担当している横村カメラマンの指導で、ジュニア記者たちもバラの撮影に挑戦! 写真を撮るためのコツなどをいろいろと教えてもらいました。



▲お互いを撮りあって人物と背景のバランスをチェック



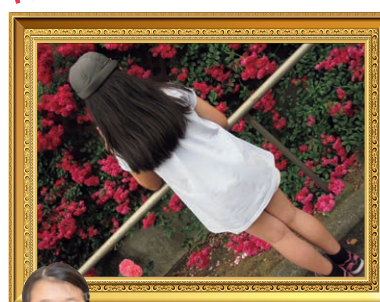
▲花の雰囲気を感じさせるために、あえて後ろ姿を撮っています

横村カメラマンのワンポイントアドバイス

写真は「どう見せたいのか」が大切です。バラの花を撮る場合は花のある風景を見せるか、花だけを大きく見せたいのかを決めましょう。一つの花をさまざまな角度から見てみるのもいいですね。



上手に撮れたね!



素敵な花のことが知ることができた良い機会でした



バラのお世話を話聞いてもっと花が好きになりました



カメラマンさんの指導のおかげできれいな写真が撮れました



上手な撮り方が難しかったけどきれいに撮れてよかったです

ジュニア記者たちが撮った写真はこちら!